

令和7年度 事業報告

令和7年度は、今後5年間の事業運営方針を明確にすべく策定した「第5次シルバーフィールドプラン（中期計画）」（令和7年度～11年度）の初年度にあたります。近年は、社会に多大な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症により思うような活動ができない時期もありましたが、市民生活の正常化に伴い、令和7年度においては脳トレなどのスマホ講座や美容講座を継続的に実施したほか、他のシルバー人材センターとの交流を行うなど、多様な活動ができました。

また、令和6年11月にフリーランス新法が施行されたことを受け、法の求める要件をデジタル技術を活用して推進し、実現できるよう取り組みました。

以下、令和7年度に実施した主な事業について報告します。

1 会員の増強と育成

多様な媒体による情報発信を強化し、会員の増強を図りました。また、オンライン説明会や会員紹介に対する報奨制度を引き続き実施するとともに、高齢会員への就業確保の強化に取り組みました。

(1) 会員の獲得・退会抑制

会員の入会促進策として、引き続きオンライン入会説明会や会員紹介に対する報奨制度を実施し、センターのPRを強化しました。また、スマホ利用講座を開催し、会員クラウドサービスの利用促進を図りました。詳細は以下のとおりです。

- ①当センターホームページから入会説明会を受講できるオンライン入会説明会を活用し、167人が新たに入会しました。
- ②会員紹介に対する報奨制度を活用し、会員からの紹介で17人が新たに入会しました。
- ③ターゲットを絞ったチラシ配布による会員募集を実施しました。
- ④市の広報紙に会員募集チラシを折り込みました。
- ⑤路線バスのラッピング広告を継続実施しました。
- ⑥新規入会者の獲得を目的にスマホ講座を市民向けに実施しました。

(2) 会員の意識・スキルの向上

- ①スマホを活用した会員クラウドサービスの利用率を向上させるため、会員向けにスマホ利用講座を実施しました。
- ②安全強化月間において安全・適正就業委員会が策定した会員向けの注意喚起のチラシを配布、周知しました。
- ③外部講師を招いて、コンプライアンス研修を実施し、会員の意識向上を図りました。

(3) 高齢会員への対応

- ・コンテナ清掃など高齢会員の就業が期待できる業務を就業機会拡大会議において検討し、高齢会員の就業に繋げました。

(4) 女性会員の確保

- ①女性いきいき推進会議において女性会員の退会抑制策を検討しました。
- ②女性会員の確保に向けた広報活動を実施しました。

2 就業機会の拡大と開拓

就業機会の拡大と開拓にあたり、事務局と就業開拓員が連携し、就業の適正化を図り、安全・安心就業と会員の技術・技能向上を推進するため、以下の内容に取り組みました。

(1) 就業先の獲得

- ①就業開拓員の活動により、高齢会員の就業先を開拓することができました。
- ②子育て応援のパンフレットを市の担当課を通じて各区の市政情報コーナーや保健センター等に配布し、女性会員の就業先を確保することができました。
- ③未就業者対策として、就業開拓に繋がるよう、就業開拓員が未就業会員に現状や希望職種等の聞き取りを行いました。

(2) 就業の適正化

- ①全国シルバー人材センター事業協会が策定する「適正就業ガイドライン」の「シルバー人材センターが提供する業務」の趣旨に基づいて、臨・短・軽の原則を順守したローテーション就業を徹底しました。
- ②全国シルバー人材センター事業協会が策定する「適正就業ガイドライン」の「会員の就業形態」の趣旨に基づいて、請負委任、派遣の就業形態に沿った契約を徹底しました。
- ③全国シルバー人材センター事業協会が策定する「適正就業ガイドライン」の「適正な料金、賃金、配分金の水準の設定」の趣旨を念頭に置きつつ、高齢会員の特性を踏まえた料金を設定しました。

(3) 安全・安心就業の推進

- ・ブロックや職域班等、小規模単位での自転車安全運転講習を継続的に実施しました。

(4) 会員の技術・技能の向上

- ・外部講師による各種講習会（筆耕・家事サービスなど）を実施しました。

3 経営の健全化

事務費率の改定、事務事業の合理化、情報公開の推進等、経営の健全化に努めました。

(1) 自主財源の確保

- ・令和5年10月のインボイス制度導入に伴う消費税の負担増や物価高に対応するため、事務費率の改定を実施しました。

(2) 事務効率の向上

- ・令和5年度に開設した会員クラウドサービスを活用した情報提供を推進しました。

(3) 情報公開の推進

- ・会員と事務局が協力し、ホームページを通じて積極的にセンターの情報を発信するための方策（ショート動画の製作など）を検討しました。

4 組織の充実

会員組織の充実と運営組織の充実に努めました。

(1) 運営組織の充実

- ・総務、事業、安全・適正就業の3委員会相互の情報を共有し連携体制を強化しました。

(2) 会員組織の充実

- ・地域推進会議や地域委員研修等を通じて、事務局とブロック長・地域委員との連携を強化しました。

(3) 事務局組織の充実

- ・事務分担を明確化し、事務マニュアルの随時更新に努めました。